

## 平成25年度第2回「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議」会議結果（概要版）

【日 時】平成26年1月30日（木） 10時00分～12時00分

【場 所】WEST19（中央区大通西19丁目）2階 研修室A・B

【議 事】別添式次第に従い、議題ごとに事務局から説明を行い、それぞれについて各委員から意見・質問を求めた。

### 【各委員の意見・質問等要約版】

#### 1 平成26年度札幌市食品衛生監視指導計画（案）について

(1)	<p>今般のホテル等における食材の偽装表示問題等を踏まえ、平成26年度監視指導計画の重点項目として適正表示対策を盛り込んだとのことだが、偽装表示問題に対して具体的にどのように取り組むのか。 (梶原委員)</p> <p>⇒ 食品表示については、札幌市保健所が所管する食品衛生法の問題ではなく、景品表示法の問題であり、所管部局は消費者庁及び都道府県である。札幌市には景品表示法を所管する部局はなく、立入調査の権限等はないため、監視指導計画では、関係機関との連携について記している。</p>
(2)	<p>市民にとっては、食品の問題について、保健所が頼りだと思ふ。法令の所管部局でないから具体的な対応が出来ないというのは、たらい回しに感じる。保健所として、より一歩踏み込もうという姿勢はないのか。 (高橋委員)</p> <p>⇒ 公権力の行使については、法に基づく指導には一定の限界があるが、他法令の知識も積極的に身につけ、業務に生かしていきたい。</p>
(3)	<p>適正表示対策を重点項目として盛り込む以上、昨年までと比べてどう違うのかをもっと具体的に説明してほしい。 (木寄委員)</p> <p>⇒ これまで十分ではなかった他法令の所管部局との連携を行うほか、食品表示法の施行も控えているため、柔軟に対応していきたい。</p>
(4)	<p>販売店等から話を聞くと、故意ではなく、知識不足のため結果的に偽装となってしまったケースも多い。このような問題を未然に防ぐため、市民を含め、正しい知識の普及も積極的に取り組んで貰いたい。 (松井委員)</p>
(5)	<p>「さっぽろ食の安全・安心推進協定」の締結事業者の中には、マイルールとして「表示の偽装はしない」と載せているところがある。そういった表記を見た市民は、食品の表示は保健所でやっているとの誤解するのでは。 (瀬川委員)</p> <p>⇒ 表示偽装については、今般の景品表示法関係以外にも、アレルギー物質や賞味期限・消費期限など、食品衛生法に関係する部分も多いため、あまり細分化して区別はしていない。</p>
(6)	<p>食品の適正表示対策を重点項目に入れるのであれば、去年までとの違いをより具体的に打ち出すべきではないか。 (木寄委員)</p>
(7)	<p>先日、母親を対象とした調査で、アレルギーに関する認知度が低いとの報道があった。親への教育も視野に入れた取組に期待する。 (行方委員)</p>
(8)	<p>市民・事業者への情報提供について、放射性物質の検査結果など、違反品だけでなく、安全なものについてなど、より積極的に情報公開をして欲しい。 (高橋委員)</p>

## 2 札幌市安全・安心な食のまち推進条例に基づく推進計画について

(1)	<p>食品関係の窓口が非常に複雑であると感じたが、推進会議において、窓口の簡素化について要望として挙げることは可能か。 (梶原委員)</p> <p>⇒ 推進会議として、本市の施策等に意見を出していただくことは差し支えない。</p>
(2)	<p>今般の偽装表示問題では、国の対応も後手後手に感じる。推進会議として、国に対しても要望していてもいいのではないか。 (大金副会長)</p>
(3)	<p>中小の業者などは、どうしていいかわからないのが現実と思う。食品表示に関する全てを網羅する総合窓口のようなものが出来ると良い。 (長沼委員)</p>
(4)	<p>ア 施策の体系について、「3 危機管理の強化・充実」は重要であると思うが、現行のビジョンにおいて、「リスク評価」と「リスク管理」について記されている。札幌市では、リスク評価とリスク管理をどのように行っているのか。</p> <p>⇒ リスク評価は国の食品安全委員会において客観的に評価されており、リスク管理についても国（厚生労働省等）が基準の設定等を行っている。札幌市の役割としては、リスク情報の共有や意見交換が主と考えている。</p> <p>イ 観光や札幌の魅力アップに向け、推進計画で具体的にどのようなアクションをしていくのか。</p> <p>⇒ 食の安全・安心の確保に努めている事業者について、観光案内所やホテル等においてリーフレット等を配布するなど、積極的にPRしていくなど考えている。</p> <p>ウ 国の指標だけではなく、札幌市としても先進的な評価軸を示し、社会的に価値のあるものと認知させていくような取組も進めてほしい。</p> <p>(加藤委員)</p>
(5)	<p>食品衛生管理認定制度（しょくまる）が、まさに札幌市独自のものであり、その推進により積極的に取り組むのが良いのではないか。</p> <p>(池田会長)</p>
(6)	<p>しょくまるの認定事業者に対して、定期的な講習会を実施するなど、継続的なフォローをして欲しい。また、その認定事業者数の飛躍的なアップにも期待する。</p> <p>(長沼委員)</p>
(7)	<p>ア メディアを有効活用した情報発信について積極的にお願いしたい。</p> <p>イ 食の魅力の向上に関し、食材（魚など）の健康効果をアピールしていくようなことは出来ないか。</p> <p>(高橋委員)</p>
(8)	<p>食材の健康効果については、国の特定保健用食品のほか、北海道でも新たに食品機能性表示制度が創出されたところ。北海道の制度を活用していくなどして、取り組むのがいいのではないか。</p> <p>(池田会長)</p>

## 3 その他

平成26年1月18日～19日に開催された「食のまち・さっぽろフェスト in チ・カ・ホ」の結果について、その概要を事務局から報告した。